

第八十四回
帝國議會
貴族院

海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

○海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律案

委員氏名

- 委員長 伯爵柳澤 保承君
 副委員長 男爵中御門經民君
 侯爵大炊御門經輝君
 子爵穴戸 功男君
 子爵波多野二郎君
 織田 萬君
 男爵柴山 昌生君
 黑崎 定三君
 富田 健治君
 大橋 理祐君
 塩田 團平君
 出光 佐三君

昭和十九年一月二十一日(金曜日)午後一時四十一分開會

○委員長(伯爵柳澤保承君) ソレデハ是ヨリ海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律案特別委員會ヲ開會致シマス、先ヅ海軍當局ヨリノ御説明ヲ伺ヒタク存ジマス

○政府委員(澤本賴雄君) 只今議題トナリマシタ海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律案ノ提案ノ理由ニ付御説明申上ゲマス、之ニ付キマシテハ曩ニ本會議ニ於テ海軍大臣ヨリ其ノ要旨ノ説明ガアリマシタガ、此ノ際少シク敷衍致シマシテ説明申上ゲ、御審議ノ參考ニ供シタイト存ジマス、先ヅ本案第一條ニ規定シテアリマスル海軍刑法中改正ニ付申上ゲマス、先般海軍ニ見習尉官制度ガ設ケラレ、新ニ軍醫見習尉官、主計

見習尉官、技術見習尉官、法務見習尉官等ノ採用ヲ見ルニ至リマシタガ、是等ノモノニ對シマシテモ、海軍刑法ヲ適用スルノ要ガアリマスノデ、海軍刑法中海軍軍人ノ名稱例ニ關スル規定ヲ改正シタノデゴザイマス、次ニ本案第一條ニ規定シテアリマスル海軍軍法會議法中改正ニ付申上ゲマス、最近戰爭ノ進展ニ伴ヒマシテ、海軍將校ノ大多數ガ第一線ノ配置ニ就キマシタ關係上、海軍軍法會議ノ設ケラレアル鎮守府、警備府又ハ警備區ヲ有スル艦隊等ノ司令部所在地ニ於キマシテハ、判士ノ召集ニ困難ヲ來シ、軍法會議ノ開廷ニ支障ヲ生ジ、延イテハ被告事件ノ處理ニ遲延ヲ免レザル狀況トナリマシタノデ、戰時事變ノ特例トシテ、判士トナルベキ者ノ範圍ヲ擴張シ、單ニ將校ノミニ限ラズ將校相當官ヲモ判士トナシ得ル如ク改ムルノ要ヲ痛感スルニ至リマシタ、仍テ一方軍法會議ノ職員ノ章中ノ規定ヲ改正スルト共ニ、他方軍法會議ノ性質ニ鑑ミ、將校相當官ヲ判士ニ加フル場合ト雖モ、裁判長トナルベキ上席判士ニハ、依然統帥ノ中核ヲナス將校ヲ以テ之ニ充ツル如ク、審判機關ノ章中ノ規定ヲ整備致シタモノデアリマス、尙前述ノ見習尉官ノ制度設置ニ伴ヒマシテ、見習尉官ヲ被告人トスル場合ニ於ケル軍法會議ノ判士ノ區別ニ關スル規定ヲ整備致シタ次第デゴザイマス、以上ガ本改正法律案ノ改正點デゴザイマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵柳澤保承君) 本日ハ是ニテ委員會ヲ閉ヂ、明日續行致シタイト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ
 (異議ナシト呼フ者アリ)
 ○委員長(伯爵柳澤保承君) ソレデハ御異議ナイト認メマシテ左様ニ取計ヒマス、明日ハ午前十時カラ續行致シマスカラ其ノ御積リデ願ヒマス、是ニテ本日ハ散會致シマス
 午後一時四十六分散會
 出席者左ノ如シ
 委員長 伯爵 柳澤 保承君
 委員 侯爵大炊御門經輝君
 子爵穴戸 功男君
 子爵波多野二郎君
 織田 萬君
 男爵柴山 昌生君
 大橋 理祐君
 塩田 團平君
 政府委員
 海軍次官 澤本 賴雄君
 海軍法務中將 尾畑 義純君

昭和十九年一月二十一日印刷

昭和十九年一月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局